



高花平だより

2017. 12. 7
第 17 号

四日市市立高花平小学校

最後まで ～マラソン記録会～

12月2日(土)、マラソン記録会を実施しました。少し走ると暑さを感じるほどよいお天気に恵まれました。1・2年生は1050m、3・4年生は1350m、5・6年生は1750mのコースを走りました。

走る前は、「ドキドキする～。」「前の学年の子が走っているのを見ていたら、だんだん緊張してきた。」と言っていた子どもたち。

「がんばれ、がんばれ。」という声援に励まされ、最後まで走りぬ

きました。長い距離を走り続けることは、体力とともに精神力を鍛えることにつながります。走り終わった子どもたちの顔は、疲れ切っていましたが達成感にも包まれていました。順位を落としたり、負けたりして悔しがっている子もいましたが、大切なのは自分のタイムとの勝負です。全力を出して最後まで走りきり、目標タイム通り、あるいは目標タイムを上回ることができれば、自分の中では勝ちなのです。そんな考え方ができればいいと思います

当日は、がんばる子どもたちへの応援、励ましの拍手、まことにありがとうございました。



わからないことが分かった時が楽しいだね



「たて〇cmよこ□cmの長方形で、中が小さい長方形の形にくり抜かれた“口の字型”の図形の面積を求める」という4年生の授業を見ました。「全体の長方形の面積」から「くり抜いた小さい長方形の面積」を引けば答えが求められるのですが、くり抜いた長方形のたて・よこの長さがすぐにはわからない問題になっているのです。「ああでもない、こうでもない」と、子どもたちは知恵を絞って自分たちの力で問題を解決しようとしていました。分かった

子どもの説明に、「でもさあ、なんでそこがそうなるの?」と一人が疑問を出すと、「だって、ここがこうだから、こうなるわけだよ。」「あっ、なるほど。」そんなやりとりがみられた授業でした。みんなの前で自然に疑問が言えるところがすごいと思いました。聞けば、この問題は一番正答率が低かったので、もう一度授業を行ったのだそうです。

授業が終わってから子どもに感想を聞きました。その時の子どもたちの会話です。「楽しかった!」「訳がわからないところもあったけどな。」「訳が分かんるところが分かるのが楽しいやん。」

たてわり班で楽しい給食

11月27日(月)に「たてわり班」で給食を食べました。この日は、弁当箱に詰められるように汁気を少なくした「お弁当給食メニュー」の日。各自で持参したお弁当箱におかずとご飯を詰めました。寒さが心配されましたが、小春日和で比較的暖かく、運動場など屋外で遠足気分(?)で楽しく食事ができました。これまでも、いっしょにゲームをしたり折り紙をしたりして「たてわり班活動」を行ってきました。今月にもう1度、1月にもなわとび運動などで「たてわり班活動」を予定しています。学年の枠を超えて異年齢の友達との輪が広がっていくことを期待しています。